



2006年12月4日

ロールス・ロイス、Trent 60 ガスタービンの受注を獲得 米国およびベルギーで初めて

【米国 2006 年 11 月 30 日】民間航空、防衛航空、船舶、エネルギー各分野の世界市場において事業展開するロールス・ロイス社（本社：英国ロンドン、CEO：サー・ジョン・ローズ、以下「ロールス・ロイス」）は、米国およびベルギーの電力会社から Trent 60 ガスタービンが初めて選定されたことを発表しました。

米国はマサチューセッツ州のブレインツリー・エレクトリックライト会社（以下「ブレインツリー社」）とは、ロールス・ロイス製 Trent 60 発電用ガスタービン 2 基のパッケージ契約を締結しました。この 2 基は湿式低エミッション型(WLE)ガスタービン・エンジンで、同社のトーマス・A・ワトソン発電所において 116 メガワットの電力供給が可能です。この発電所は、ボストン南部に位置し、運転を終了したポッター1 発電所の跡地に建設される新しい発電所です。

Trent 60 は、ブレインツリー社のお客様ならびに今後、電力供給の対象となる ISO ニューイングランド社の送電網を利用するお客様のエネルギー需要に応えるべく、費用対効果が高く、環境にやさしい、かつ高効率な電力を供給します。

もう一つの新規契約は、ベルギーの電力会社 SPE 社との間で締結されました。同社が、スイスの発電システムパッケージャーであるターボマック社が建設する発電所向けに 2 基の Trent 60 を選定したものです。SPE 社はベルギーのヘント付近に位置するハム発電所において、Trent 60 乾式低エミッション型(DLE)ガスタービン・エンジンを使用し、同国内におけるエネルギー需要のピーク時の送電網に電力を供給します。

この Trent 60 は、現地条件で 51 メガワット級の発電能力を保有していますが、ロールス・ロイスが開発した新技術、給気冷却を用いてアップグレードすることにより、その出力は 11%以上増加させることが可能です。この機能向上により、SPE 社は初期コストをわずかに増加させるだけで、高温時における発電量を増大させることが可能になります。

Trent 発電パッケージは、カナダ、デンマーク、英国、中国、ならびに中東のお客様からすでに数多く受注しています。